

社会



地域と連携した CSVの推進

重要課題

- 地域コミュニティ

主要な取組み

- 事業を通じた生活支援、観光支援など

創出する価値

- 地域経済の活性化
- 地方創生を通じた日本の国際競争力の向上
- 持続可能な社会のための共創基盤の構築

SDGsへの貢献



基本的な考え方

近年、日本は少子高齢化や過疎化といった様々な社会課題に直面していますが、日本全国で事業を営むヤマトグループにおいて、地域の活力は事業に大きく関係します。また、当社グループが地域コミュニティに与える影響も大きいと認識しており、様々な面で地域への負荷を減らすとともに、地域と当社グループがともに発展していくことが重要な課題であると認識しています。

当社グループは、地方自治体などと連携して、本業を通じて社会課題の解決に貢献する「プロジェクトG (Government)」を推進しています。全国各地で客貨混載や観光支援、地域産品の販路拡大支援などに本業として取り組むことで、経済的価値と社会的価値とを満す共有価値 (CSV) の実現を目指しています。

■ プロジェクトGの実績

プロジェクト案件数: **1,075件** (2019年12月31日現在)

自治体とのプロジェクト協定数(408件)の内訳(単位:件)

■ 見守り支援	150	■ ふるさと納税	10
■ 買い物支援	14	■ 環境保全	2
■ 産物支援	14	■ 客貨混載	10
■ 観光支援	14	■ 包括支援	43
■ イベント支援	3	■ その他	12
■ 災害支援	136		

客貨混載の取組み

ヤマト運輸は、地域の自治体やバス・鉄道会社と協力し、乗客と荷物を同時に運ぶ「客貨混載」を進めることで、過疎化や高齢化が進む中山間地域における路線網の維持と、物流の効率化による地域住民の生活サービス向上に取り組んでいます。

客貨混載展開エリア: **全国14道県** (2019年12月31日現在)

▶ 客貨混載による路線網の維持と生産性の向上

2018年10月、関越交通株式会社が群馬県沼田市で運行するローカル路線バスと連携して客貨混載を開始しました。関越交通の沼田駅～鎌田間のローカル線は地域住民の重要な交通手段でありながら、収入減により赤字路線であるという課題がありました。一方、ヤマト運輸は、沼田支店から同地域に荷物を配達する際、午前と午後約1時間かけてトラックで往復する必要性がありました。今回の取組みにより、関越交通は路線バスの空きスペースで宅急便を輸送することで新たな収益源を確保し、ヤマト運輸にとっても走行時間が約1時間削減されることで、セールスドライバーの働く環境の改善やCO₂排出量の削減にもつながるほか、現地での滞在時間が増えたことでお客様のご要望にお応えしやすくなりました。

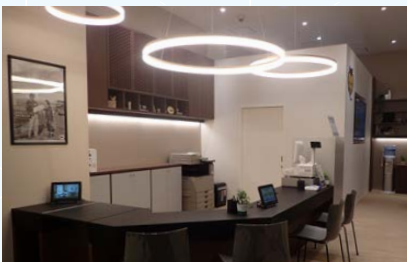
地域と連携したCSVの推進



全但バス



「SOZORO」で手荷物を預ける観光客



ネコサポステーション サービスカウンター



ネコサポステーション コワーキングスペース



家事サポートサービス 換気扇の掃除

観光支援型「客貨混載」で手ぶら観光を推進

ヤマト運輸と全但バス株式会社は、2018年12月、兵庫県の城崎温泉に宿泊する外国人観光客向けの「手ぶら観光」サービスを開始しました。

観光客は、城崎温泉に宿泊し、チェックアウト時に全但バスツーリストインフォメーション「SOZORO」へ手荷物を預けることで、重い荷物を持つことなく「手ぶら観光」を楽しむことができます。一方、手荷物は城崎温泉から大阪市内のヤマト運輸拠点まで高速バスを利用した「客貨混載」で輸送され、宅急便によって大阪市内の宿泊先のホテルに届けられます。

ヤマト運輸と全但バスは、2017年より、中山間地域でのバス路線網維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上を目的に「客貨混載」を行っており、この連携をベースに新たな取組みとして「手ぶら観光」サービスが実現しました。

コミュニティ拠点を活用したくらしのサポート

少子高齢化が進む中、人口が集中し、地域コミュニティが希薄な都市部において、今後急激な高齢化が進むことで、地域住民の生活に関わる課題が顕在化することが想定されます。

ヤマトグループは2016年4月から、東京都の多摩ニュータウンで、当社グループの経営資源を活用し、地域住民のより快適な暮らしをサポートする「くらしのサポートサービス ネコサポ」を展開しています。

団地内や近隣の商業施設内に設置したコミュニティ拠点「ネコサポステーション」において地域情報の発信や交流イベントを行い、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自治体、地域事業者と協力して地域住民の生活をサポートする家事・買い物代行などの生活関連サービスを提供しています。

また、地域住民の方々に広くご利用いただく中で、多摩市以外の地域から出店を期待する声を多くいただき、2019年10月に千葉県の大規模商業施設「テラスモール松戸」内に、「ネコサポステーション テラスモール松戸店」をオープンしました。松戸市では、1960年代ごろに整備された大規模な団地エリアの高齢化が進んでいる一方で、近年では都心へのアクセスの良さから、共働きや子育て世代から人気のエリアとなり、世代を問わず住民が安心して快適に暮らせる街づくりを推進しています。

ヤマトグループの経営資源を活用しながら、テナントや地域事業者・団体と連携したサービスを提供することで、松戸市や近隣地域にお住いの高齢者、子育て世代など、様々な世代がつながるコミュニティ拠点となることを目指し、皆様の安心・快適な生活をサポートしていきます。

▶ より詳しい情報は、当社ホームページ「CSRの取り組み」をご覧ください。
<https://www.yamato-hd.co.jp/csr/index.html>